



活動名「ホタルと花と砂留と」



「自然・歴史・地域を守る砂留」

2020年(令和2年)4月1日 堂々川ホタル同好会情報紙2019年度13号(創刊より 183号)

大学生寄稿シリーズは当面3回で休止とし、ホームページ制作に専念しています

1. 3月、巷は新型コロナウイルス対応で大変ですが、堂々川は不法投棄・ポイ捨ての対応に四苦八苦し、パトカー登場のはめになりました。子供たちと植え始めた彼岸花は、中国地方 NO.1 を目標に置くまでになりましたが、ここ最近のごみ捨てペースは2006年頃と同じペースです。監視カメラの取り付けを本気で検討しています。
2. 「堂々川彼岸花基金」を設立しました。その基になる同好会のホームページも福山市さんのご協力をいただき、ほぼ完成しました。TV撮影、新聞取材に彼岸花基金の代表は大忙しでした。基金は一口1000円で、何口でも良いのでご寄付ください。基金の代表は坂本敏男さんです
3. 3月、定例会は実施しませんでした。桜が開花し、新入会員方々の単独作業により、6番砂留の斜面や鳶ヶ迫砂留下方斜面が、見違えるように綺麗になっています。最高の景観をカメラ撮りや散策で楽しんでください。例年、ソメイヨシノが開花したすぐの夜のホタルの幼虫は光りながら上陸しますが、今年は10日も早く3月27日には幻想風景が見られました。
4. 堂々川周辺の自然もにぎやかです。鳥、花、蝶の観察、山菜(ツクシ、ワラビ)採取もできます。
5. フォトで見る活動



6番砂留下方からの景観



鳶ヶ迫谷を道路から見る



堂々公園のヤマガラ



堂々川新迫山橋下の川へ



余りにもひどいごみの量に



堂々川下流のソメイヨシノ



光りながら道路を横切る幼虫



ホタルの幼虫の上陸

6. 次回の定例会行事

○日時：令和2年4月19日(日) 堂々川1番砂留脇広場 会員参加者には記念品を渡す予定

○作業：鳶ヶ迫谷川の中の不法投棄、伐採草等の引き上げ 堰堤の草取り、5番川原の砂除去 4番川原ごみ拾い、イノシシが掘った跡へ球根補填

堂々川ホタル同好会 発行責任者 土肥 携帯 090-2865-3486

堂々川彼岸花基金の設立

福山市神辺町の岡山県県境近くを源にした、堂々川流域は中国地方最大の彼岸花の里を目指してボランティアと小学生たちが活動しており、今年は25万本開花・花色25色を目指している。詳しくはホームページを参照ください。

2020年4月1日付で坂本敏男氏を代表に堂々川彼岸花基金を正式に発足させた。思えば2008年不法投棄を無くす対策として彼岸花の球根を植え始めた。あれから13年・



不法投棄は大幅に減り、たばこのポイ捨ても減って2013年以降、山火事もなくなった。

2019年より目標は高くなり、福山市公園緑地課の支援もあって1番砂留から堂々公園内、及び鳶ヶ迫砂留迄の約1.7kmが秋には赤白黄色で染まる観光地になった。

ここまでボランティアが頑張ったが、猪や頭の黒い生物が球根を掘り上げたり、持ち帰ったり花を踏むのは当たり前と好き勝手な行動をとり、管理者を悩ませている。



注意したら「植えた物なら看板を掛けるなどしてあれば盗らないのに」と非常識なお言葉を傍の子の母親らしき人からいただいた。

基金使用の目的と適用

- ① 花の植栽は不法投棄撲滅対策の一環
- ② 基金募集のPR及び看板3基設置の費用
- ③ 球根代・肥料、草刈り等の燃料・備品の購入
- ④ 小学生が堂々川で植える際の道具類等の購入
- ⑤ 植栽参加の皆にお茶の1本でも提供できる費用

募金方法

現地看板のQRコードからHPへ
開花時役員がご寄付呼びかけ
篤志家にご寄付の依頼

扱い者

代表 坂本 及 堂々川ホテル役員

私たち同好会は

新しい仲間を求めています

目標達成をみんなでやり遂げましょう



彼岸花基金にご寄付の御協力をお願いいたします